

# マイキープラットフォームによる地域活性化方策検討会の状況について



愛称  
「マイナちゃん」

平成28年4月21日



愛称  
「マイキーくん」

# マイキープラットフォームによる地域活性化戦略 骨子（素案）

目標  
全国の商店街の売上増

## 現状

### 地域商店街のポイントカード等

- ポイント、スタンプ、シール等
  - ・ポイントが一定数ないと使えない（満点方式etc）
  - ・死蔵されることがある
  - ・顧客分析等ができない
- ➡ デジタルポイントとICカード等が必要

### 自治体ポイントカード等

- 団体別、ポイント付与事業別のシステムとカードによる高い経費率
- ➡ 住民還元率が小さい
- 商店街のデジタルポイント化が不十分
- ➡ ポイントの利用先が限定され、ポイントの魅力が低減

### 公共施設等利用者カード

- 多くの利用者カードがバラバラ
  - ・使いにくい（施設間での連携不可）
  - ・死蔵が多い（低い呈示率）
- 住民ニーズの多角的分析が不十分（個々にシステムを設置のため）

## マイナンバーカードの活用

○1枚で便利  
 鹿児島県 主要 15種類 (278万枚)  
 豊島区 22種類 (65万枚)  
 →マイナンバーカード対応

○コストが大幅に低減  
 自治体間・システム間連携が可能に。  
 →自治体クラウドを加速

○商店街等への大きな需要を創出



## 対策

I. クラウド型デジタルポイントの導入等による地域商店街の生産性向上 〔中小企業庁等の支援〕

- 1ポイントから利用が可能（利便性の向上）
- 1枚のカードに機能の集約（死蔵の回避）
- 顧客分析等が可能に
- ➡ ⇒売上増
- ※カード発行費用が不要である等、商店街の負担軽減

II. 自治体ポイントによる地域需要の増大 〔総務省が制度設計・システム開発〕

- 自治体による商店街還元ポイント導入促進
  - ・マイナンバーカード利用等により、低コストで高い呈示率と住民還元率の向上を図る
- 金融ポイント等の支援ポイント化（自治体ポイント）により、地域への資金流入を拡大し、商店街等に還元 〔各自治体の取組を支援〕
- 地域おこし協力隊による活動支援制度の充実 〔クレジット会社 原資（2013年度）2,090億円/年（クレジット会社）等との連携〕

III. マイナンバーカードの活用による公共施設等の利用率向上 〔総務省・自治体による取組〕

- 利用者カードの標準化（呈示率向上）
  - ・施設間での連携利用の促進
- 商店街との連携
- 住民ニーズの多角的分析・対応に活用（クラウドシステムの導入促進）

# マイナンバーカードを活用した地域活性化戦略（案）

～民間利用が可能な電子証明書等(マイキー)を活用～  
※マイナンバーは使わない

## ② 住民視点での行政サービス改革 (自治体クラウドの強力な推進による低コスト化)

## ③ 地域経済の活性化・好循環拡大 (自治体ポイント等を通じた需要増大)

### 市区町村

#### 公共施設等利用者カード

図書館・美術館カード  
スポーツ施設利用カード  
公共交通カード  
駐輪カード  
講座受講カード  
市民ひろば利用カード 等

#### 自治体ポイントカード

子育て支援ポイント  
ボランティアポイント(介護等)  
長寿祝い券/ポイント  
健康増進ポイント  
生涯学習ポイント  
イベント参加ポイント 等

マイキープラットフォーム(注)

自治体クラウド  
を活用し経費率  
を低減

自治体ポイントの  
住民還元率 UP

民間資金の地域導入  
(支援ポイント)

たまったクレジット  
カード等のポイント  
を地域で活用

自治体ポイント

商店街など

需要拡大  
好循環

まちなか  
公共施設

地元の逸品等

イベント

プレミアム商品

商店

## ① 1枚で様々なサービス利用が可能 (マイナンバーカード)

(例) 鹿児島県内 主要15種(278万枚)  
豊島区 22種(65万枚) など



ポイント年間発行推計  
(最少)  
クレジットカード  
2,090億円  
航空会社(主要2社)  
595億円  
等  
2013年度 野村総研推計

総務省

連携

経済産業省  
(中小企業庁)

(注)  
マイナンバーカードを  
様々なサービスを呼び出す  
共通ツールとして利用する  
ための情報基盤

# マイキープラットフォームによる新たな商店街振興策を軸とした地域活性化効果（素案）

○各種支援パッケージの導入等により **売上増** を目指す

約50兆円  
(約1万3千商店街)

オンラインポイント  
システムの浸透

**生産性向上による売上増**

- ・デジタルポイントの導入  
加速
- ・顧客分析(CRM等)の導入

約50兆円+α

マイキープラット  
フォームの活用

**カードの呈示率の向上による売上増**

- ・ポイントの魅力増大
- ・公共施設・公共交通への優遇ポイント化
- ・各種アライアンス等によるイノベーション  
の展開
- ・マイナンバーカードの活用

- ・自治体ポイント
- ・支援ポイント
- ・滞蔵ポイントの活用

**地域の購買力の増大**

(ポイント利用額×ポイント売上倍率)

ポイント対象売上

既存ポイント還元分

ポイント対象売上

既存ポイント還元分

# マイキープラットフォームによる新たな商店街振興策を軸とした地域活性化戦略（素案）

○マイキープラットフォームにより  
自治体の公共施設  
商店街 } マイナンバーカード 1枚で



○全国の公共施設  
商店街（1万3千箇所） } 窓口に、  
タブレット、通信設備等を配置。  
クラウド対応のサービスを利用。

## 活性化の起爆剤

地域総合支援  
パッケージ

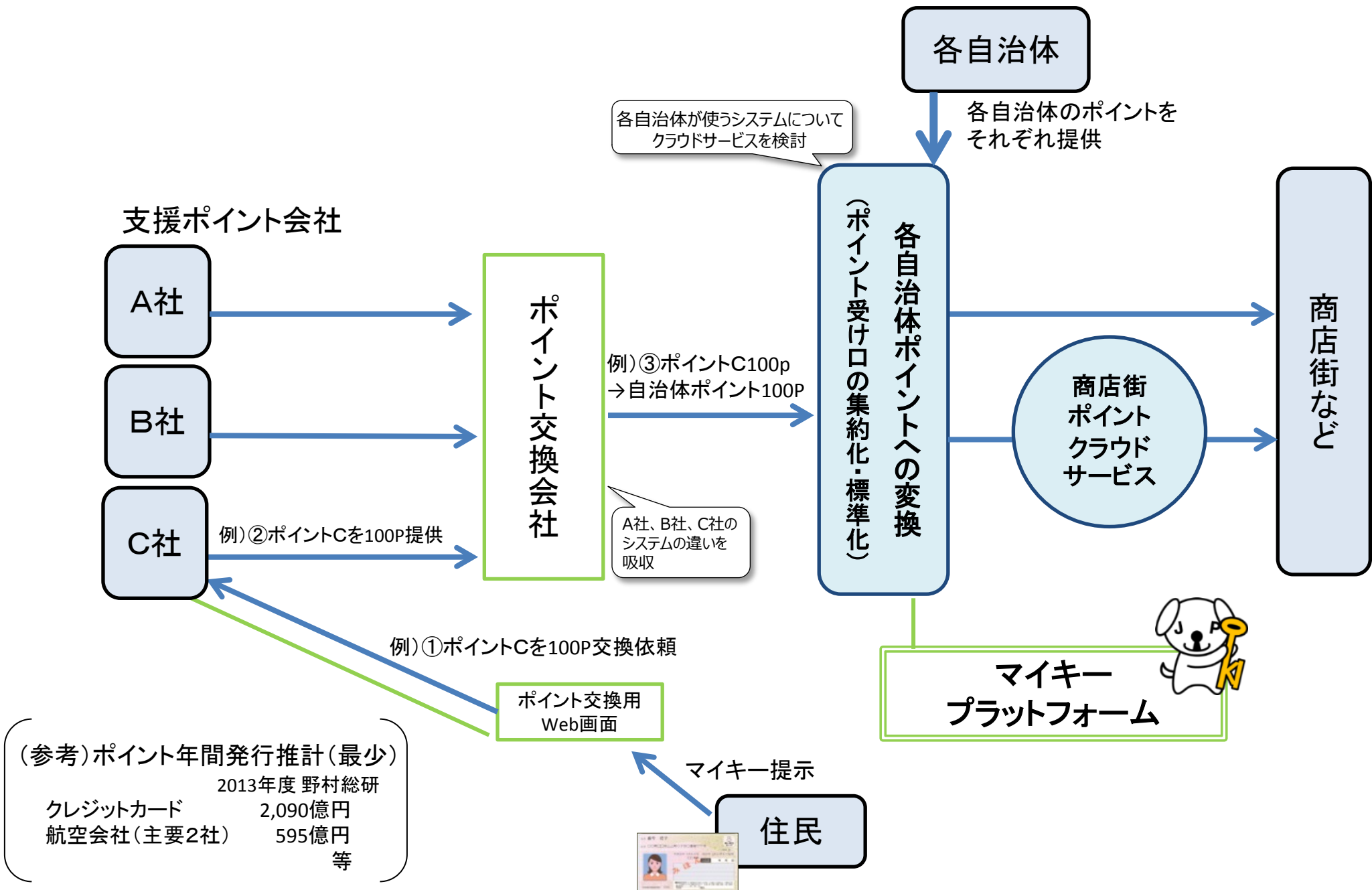
- 自治体ポイント、地域おこし協力隊
- 商店街への顧客分析（CRM等）の導入
- 支援ポイントの地域導入

地域連携による支援

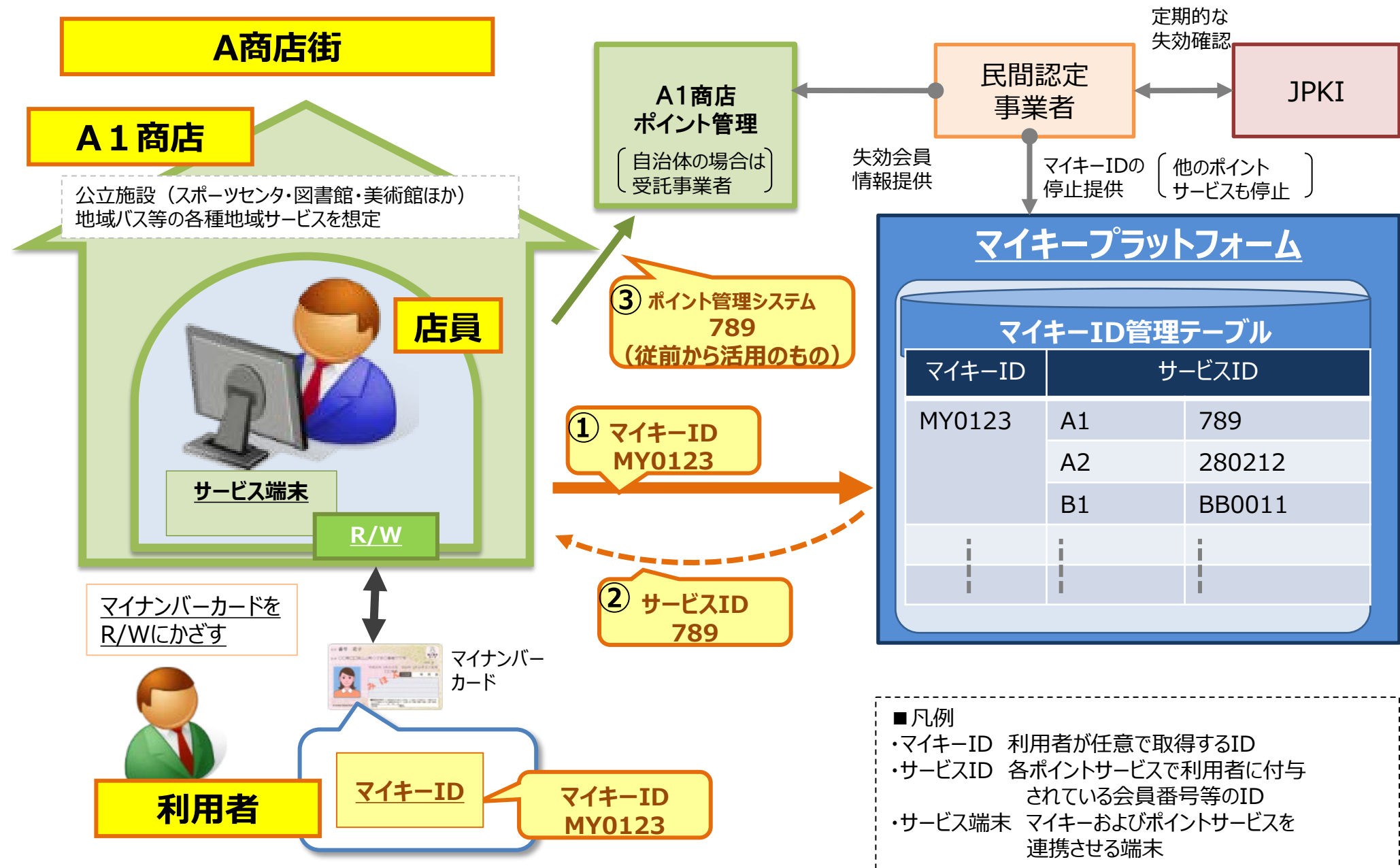
商店街の生産性向上努力

民間活力の地域への導入

# マイキープラットフォームにおける支援ポイントのイメージ（素案）



# マイキープラットフォーム利用のイメージ（素案）



# マイキー利用イメージ（素案）

利用者（希望者） ~ 既定のランダム文字列をマイキーIDとする場合（本登録）  
 又は自分で任意の文字列をマイキーIDとする場合（仮登録） ~



マイナンバーカード



R/W

**自宅PC等の端末**  
 Webアプリ（JPKI活用）

マイキーID登録（又は仮登録）

**マイキープラットフォーム**

- 一意のマイキーIDの生成、登録（JPKI活用）
- マイキーID管理テーブル
- サービスIDの登録
- マイナンバーカードへのマイキーIDの書き込み

JPKI

自治体（市区町村）仮登録を本登録する場合 ~

利用者

マイナンバーカード



マイキーID

R/W

**市区町村窓口**  
 総合端末  
 マイナンバーカードへのマイキーIDの書き込み（窓口処理）

マイキーID書き込み

自治体  
 ポイント  
 変換  
 システム

図書館・商店街ほか

マイナンバーカード



マイキーID

R/W

**受付窓口**  
 サービス端末（タブレット等）  
 受付アプリ  
 サービスID登録  
 マイキーID照会  
 サービスID引渡し  
 既存業務アプリ

サービスID登録

マイキーIDによる照会

既存業務システム  
 ※ID変換テーブルを事業者が保持することも可

**民間認定事業者**  
 （総務大臣認定のJPKI検証者）  
 失効会員情報提供（JPKI活用）

JPKI



# マイキーIDと利用者証明用電子証明書（素案）

公的個人認証サービスから提供される利用者クライアントソフトウェアでは、「自分の証明書」の「詳細情報」において、利用者証明用電子証明書内容を確認できる。

マイキーIDのマイナンバーカードへの搭載内容の確認は、この機能を利用することを想定する。

証明書表示

公的個人認証サービス 利用者の利用者証明用電子証明書

基本情報 | 詳細情報

主体者(S) CN=1C2410DF79DGEL07202002B  
C=JP

発行年月日(Y) 平成27年7月9日

有効期間の満了日(E) 平成32年6月1日

発行者(I) OU=地方公共団体情報システム機構  
OU=公的個人認証サービス利用者証明用  
O=公的個人認証サービス  
C=JP

ファイル出力(E)

電子証明書の有効性確認は行われていません。

証明書表示

公的個人認証サービス 利用者の利用者証明用電子証明書

基本情報 | 詳細情報

項目名	値
署名アルゴリズム	sha256WithRSAEncryption
発行者	Japan Agency for Loc...
発行年月日	2015年7月9日19時33分...
有効期間の満了日	2020年6月1日20時59分...
ランダム文字列	1C2410DF79DGEL
受付端末識別記号	07202002B
主体者の公開鍵情報	rsaEncryption(2048bits)

07202002B

フィンガープリント  
sha256|077C0927083C1E9096873F038B04929BE276E28E1AC223B01C6C0A  
5D9B0F0672

ファイル出力(E)

有効性確認(Y)

電子証明書の有効性確認は行われていません。

マイキーIDにあたる情報(※)

※英字A-Z、  
数字0-9の  
36種類、14ケタ

既定のランダム文字列を  
一意にするための補足情報

出力ファイル(抜粋)

[ランダム文字列]  
1C2410DF79DGEL

[受付端末識別記号]  
07202002B

# マイキーID登録画面のイメージ（素案）



http://wwwxxxxxxxxxxx/xxxxx/

マイキープラットフォーム



## [マイキーIDの登録]

### (1) 既定のランダム文字列をマイキーIDとする場合(本登録)

- あなたのランダム文字列は、以下のとおりです。
- これをマイキーIDとして使用する場合は、【登録】ボタンを押してください。
- メッセージ欄に、「正常に登録されました。」と表記された場合、登録作業は終了です。  
店舗等にてサービスIDと連携させて、ご利用ください。

ランダム文字列：

登録

メッセージ欄（正常に登録されました。）

- ご自身で希望するマイキーIDを設定したい場合は、【(2)】に進んでください。

### (2) マイキーIDをご自身で設定する場合(仮登録)

- ご自身でマイキーIDを設定いただき、【仮登録】ボタンを押してください。
- メッセージ欄に「正常に仮登録されました。」と表記された場合、仮登録作業が終了です。  
マイナンバーカードを持って、市区町村窓口で登録手続きを行ってください。  
手続きが完了次第、店舗等にてサービスIDと連携させて、ご利用ください。
- 重複等のエラーにより、メッセージ欄に「仮登録ができません」とのメッセージが表記される場合、  
異なるマイキーIDを設定し、再度【仮登録】ボタンを押していただくか、上記(1)の方法でご登録ください。

マイキーID設定：

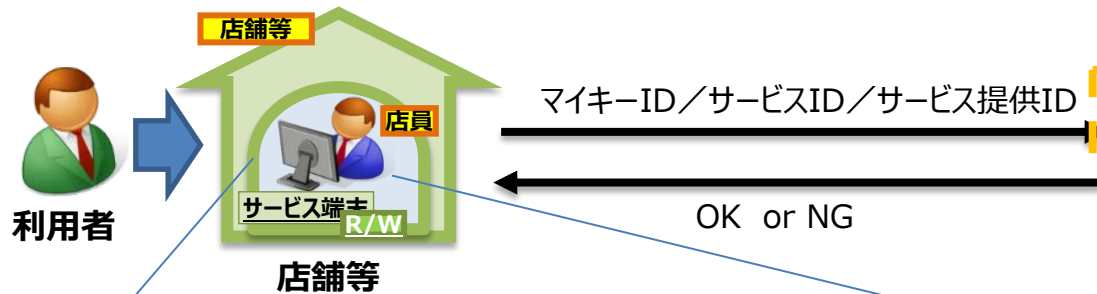
※半角英大文字A-Z、半角数字0-9の36種類、  
14ケタで設定願います。

仮登録

メッセージ欄（正常に仮登録されました。）

# サービス登録時（サービスID登録）（素案）

利用者は、サービスの初回利用時、店舗等のサービス端末にて、マイキーIDで利用するサービスに応じたサービスIDをマイキープラットフォームに登録する。



マイキープラットフォーム

マイキーID管理テーブル

マイキーID	サービス提供ID	サービスID
1C2410DF79DGEL	A-α1-0001	ABCDEFGHI
	A-β1-0001	2802121234
	A-γ1-0001	1111358665
...	...	...

## 受付アプリ

### サービスID登録

手順1：マイナンバーカードをICカードリーダーにかざす。



R/W

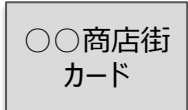
手順1：あなたのマイキーIDを読み取ります。【読取】ボタンを押して、マイナンバーカードをICカードリーダーにかざしてください。

1C2410DF79DGEL

読取

サービスIDをマイキープラットフォームに登録する画面例

手順2：利用登録するサービスのカードをリーダーにかざす。



R/W

手順2：登録するあなたのサービスIDを読み取ります。【読取】ボタンを押して、サービスの利用カードをリーダーにかざしてください。

ABCDEFGHI

読取

手順3：【登録】ボタンを押す。

手順3：あなたのサービスID登録をしますので、【登録】ボタンを押してください。

登録

メッセージ (※)

(※)メッセージ例：既にサービスID登録済み

# 検討の経緯と中間報告の位置づけ

## 検討の経緯概要

平成28年2月12日(金) 第1回 マイキープラットフォームによる地域活性化方策検討会

- 構想の概要、検討目標、検討課題の提示
- メンバーからのプレゼンテーション

平成28年3月24日(木) 第2回

- メンバーからのプレゼンテーション
- 地域活性化戦略(素案)について意見交換

平成28年4月中 第3回(予定)

- 中間報告(案)について意見交換

## 中間報告の位置づけ

- 第1回検討会、第2回検討会での議論を踏まえ、中間的に整理を行うもの。
- 中間報告を踏まえ、都道府県・市区町村などの関係者に今後、幅広く提示して、意見をお聞きする。素案であり、いわば「たたき台」的な位置づけ。
- システムのあり方などは、これら意見を踏まえさらに検討を進めていく。

# マイキープラットフォームによる地域活性化方策検討会 構成員

(敬称略、五十音順(平成28年2月時点))

座長	太田 直樹	総務大臣補佐官
	赤間 広嗣	鹿児島県企画部情報政策課長
	市瀬 英夫	埼玉県町村会情報システム共同化推進室長 静岡県CIOアドバイザー
	伊藤 博	川崎市中原区 モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合理事長 神奈川県商店街振興組合連合会理事長
	大高 利夫	藤沢市参事兼IT推進課長
	岡田 祐子	株式会社エムズコミュニケーション代表取締役社長
	小尾 高史	国立大学法人東京工業大学 准教授
	高橋 邦夫	豊島区政策経営部情報管理課長
	手塚 悟	東京工科大学コンピュータサイエンス学部 教授
	東條 洋士	徳島県政策創造部地方創生局地域振興課長
	原田 智	京都府情報政策統括監
	廣川 聡美	地域情報化アドバイザー
	吉田 康夫	全国商店街振興組合連合会専務理事

## 【関係省庁等】

	向井 治紀	内閣官房社会保障改革担当室審議官 内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室室長代理（副政府CIO）
	藪内 雅幸	経済産業省中小企業庁経営支援部商業課長
	猿渡 知之	総務省大臣官房審議官（地方創生・地方情報セキュリティ担当）
	福浦 裕介	地方公共団体情報システム機構情報化支援戦略部長